

協定面積 (ha)	田	11.6	対象農用地 (ha)	田	11.6	対象資源	数量
	畑	9.7		畑	9.7	農用地	21.3ha
	草地			草地		開水路	6.5km
	計	21.3		計	21.3	パイプライン	
組織の構成員	中ノ町第三土地改良区、中野町大明神自治会 中里町自治会、中野町北自治会				ため池		
					農道	3.8km	

地域の紹介

浜松市東区、東名浜松インターの南側、天竜川沿いに位置する。中ノ町の地名は、江戸時代、江戸と京都を結ぶ東海道の真ん中にあることから「中ノ宿」と呼ばれることを由縁としている。本地域は、水稻を中心とした露地野菜との複合経営が多い。浜松では豊西地区とともに戦後一番にセルリーの栽培を導入し、産業化の基礎づくりがされた。



農用地を活用した景観形成活動

活動内容

遊休農地の解消、作業計画の策定、水路の草刈、泥上げ、施設の点検。遊休農地を活用した収穫体験（そば、じゃがいも、野菜）。農用地等を活用した景観形成としてコスモス、ひまわり、菜の花、ポピーの植栽。地域住民のとの交流活動として、そば打ち体験、試食など。



地域住民との交流活動(そば打ち)

地域の将来像

遊休農地が多く、農家の高齢化、後継者不足より、今後増加が見込まれる。今後の会の活動の中で、遊休農地の解消は、大きなテーマとなる。この地域は、まとまった区画がなく、小規模農家が多いため、専業農家が少ない。地域として、今後の農業を託せる人材を確保することが必要。

課題

会員をいかに集めるかが今後の課題である。皆、重労働を敬遠し、疲れたくないという傾向があるなか、種まき作業を機械化するなどして、会員の負担を減らす工夫をしてきたが、今後もさらに工夫が必要となる。書類作成の効率化を図り、事務負担の軽減が必要である。



水路の泥上げ作業

抱負・コメント

地域の遊休農地がすべて解消され、しっかりと管理されている状態になることが理想である。しかし、気負いすぎても活動は長続きしないため、マイペースに仲間と楽しんで活動を続けていきたい。今後は、地域の子供たちとその家族も巻き込んで活動していきたい。

